

会報 第3号

2022年(令和4年)1月31日(月)

発行所:UAゼンセンIKI・IKIライフクラブ事務局
〒102-8273 東京都千代田区九段南4-8-16
TEL:03-3288-3598 FAX:03-3288-7174

UAゼンセン 発行人 野口 敞也
IKI・IKIライフクラブ 編集人 谷津 正信

新春ごあいさつ

退職者の新規加入を勧めましょう!
「かわい たかのり」必勝へ力を結集

あけましておめでとうございます。
昨年も新型コロナウイルスに世の中の様々な活動が抑圧されてしまいました。とくに高齢者にとっては貴重な日々が人にも会えず、自由に出歩きもできず、たまらない一年でした。それともよう収まってきたと思ったり、また新しいウイルス「オミクロン株」が蔓延してきています。
IKI・IKIライフクラブは、現役の組合の一括加入が相次ぎ、会員数が倍増し4万人を超えました。ただ残念なことに退職者の新規加入が進んでいません。各都道府県支部における一層の拡大努力を期待します。
昨年は、衆議院議員選挙がありましたが、安倍、菅政権と続いたなんとも悪辣な政治にもかかわらず、自民党が絶対安定多数を獲得しました。残念な限りです。今年は参議院議員選挙があり、わたしたちの代表「かわい たかのり」が再選に向けて挑戦します。「かわい」は現在、「国民民主党」の中心になって大活躍していますが、大変厳しい選挙です。現役と一体になって最大限の支援をおくりましょう。
迎える一年が平穏であり、皆さまにとって明るく過ぎがいのある年であることを祈念し、新年のご挨拶といたします。



IKI・IKIライフクラブ 会長 野口 敞也

目に見える政策実現へ全力で取り組みます
「対決より解決」の姿勢で政治を前に進める!

新年おめでとうございます。
平素よりIKI・IKIライフクラブ会員の皆さま、ご家族の皆さまには、力強いご支援を賜り、誠にありがとうございます。皆さまのお力で、「田村 まみ」と共に国会で活動させていただいているお陰で、雇用・労働・社会保障政策のみならず、財政・金融・法務・消費者政策など、幅広い活動が可能となりました。今年も、この恵まれた環境を最大限に活かして、皆さまの求める政策の実現に全力で取り組んで参ります。
一昨年来、5波にわたる新型コロナウイルス感染拡大により、社会全体が閉塞感に覆われました。私たちの働き方・暮らし方に変容が求められる中、社会全体の感染予防意識の高まりに加えて、ワクチン接種が進み、感染状況や医療提供体制は落ち着きを見せています。ただ、その要因は解明されておらず、次の感染拡大局面への不安を残したまま新年を迎えることとなりました。
コロナ禍により企業活動や国民生活に甚大な影響が生じる中、今年も引き続き皆さまからお寄せいただいたご意見を踏まえて、新型コロナウイルス対策の取り組みを強力に推進して参ります。



UAゼンセン政治顧問 参議院議員 かわい たかのり

2021年10月の衆議院議員選挙では、多大なるご支援・ご協力を賜りありがとうございました。自・公長期政権によって、緊張感を失った国会を改革し、停滞するこの国を動かすために「国民民主党」は、「政権構想」の一致しない野党共闘とは一線を画して闘い、わずかながらも議席を増やし、一定の存在感を示すことができました。ご支援をいただいた皆さまに、心より感謝申し上げます。掲げた政策の実現に向けて、「対決より解決」の姿勢で政治を前に進めて参ります。
私は、本年夏の参議院議員選挙に挑戦をさせていただきます。引き続き、IKI・IKIライフクラブの政策の実現を皆さまに目に見える形でお示しできるよう、全力で国会活動に努めて参ります。一層のご支援をよろしくお願い申し上げます。
結びに、一日も早いコロナ禍の収束と経済の再生を心より願ひ、皆さまのご健勝・ご多幸をご祈念申し上げまして、年頭のご挨拶といたします。

えらべる倶楽部が「ベネフィット・ステーション」に

IKI・IKIライフクラブのサービス事業「えらべる倶楽部」を運営する(株)JTBベネフィットが、同業種の(株)ベネフィット・ワンと合併します。「えらべる倶楽部」のサービスは2022年3月末で終了し、4月1日から「ベネフィット・ステーション」に生まれ変わります。移行後は会員の皆さまへ

重要なお知らせ

生まれ変わりサービス内容も充実します

のサービスの一層の充実が期待されます。
「ベネフィット・ステーション」への変更内容(サービスの利用方法、等)や切換え作業などを現在調整中です。決定次第、会員の皆さまには各種媒体で情報提供をいたします。

IKI・IKIライフクラブ都道府県支部の活動

京都府支部発 海産物と地酒に舌鼓 師玉憲治郎支部長

鹿児島県支部発 かわい議員の支援活動取り組み 喜納浩信支部長

第2回定期総会を2021年11月24日～25日に、本部の田村雅宣副会長も出席し、「ホテルこしきしま親和館」で開催しました。総会では、①会員拡大、②活動計画、③「かわい たかのり」支援活動等の取り組みを確認しました。また、県支部代表にイケダパン労組OBの外園典明氏の就任を確認しました。
総会後は、島津藩の密貿易の拠点であり、恐竜化石の出土や縄文時代からの歴史や生活を伺える東シナ海にある甌島(こしきしま)を訪れ、加盟組合である南国産産「こしき海洋深層水」工場の視察を行い充実した総会となりました。

第2回定期総会

募集

UAゼンセン結成10周年記念ロゴマークを募集します
テーマは、「つながる、育てる、発信する」

UAゼンセンは、2023年度諸活動のあらゆる機会に使用し、組合員、IKI・IKIライフクラブ会員との一体感を醸成させ、結成10周年を盛り上げるためのロゴマークを募集しています。奮ってのご応募をよろしくお願いいたします。
UAゼンセン結成10周年の事業テーマは、①つながる…UAゼンセンに集う仲間の一息の醸成、②育てる…これまでの歴史の継承・未来の労働運動づくり、③発信する…UAゼンセンの取り組みを社会に向けて発信する…です。なお、書体、色数、デザインは自由でフルカラーや単色、縮尺しても使用できるものとしています。

事業基盤確立への重要な一年

第2回全国代表者会議

心豊かで幸せなライフスタイルのための生涯ネットワーク構築へ

UAゼンセンIKI・IKI(生き生き)ライフクラブの第2回全国代表者会議は、新型コロナウイルス禍の中、2021年9月15日にIKI・IKIライフクラブ本部と都道府県支部との書面会議として開催しました。
全国代表者会議では、2021年度(2020年9月～2021年8月)の活動報告を行い、①UAゼンセン本部管理グループの生活応援事務局内にIKI・IKIライフクラブ事務局を設置、②会員の加入促進、③政策活動、④IKI・IKIライフクラブの機動的な運営、⑤旧「友の会」会員への給付事業などの活動を承認しました。
続いて議案では、IKI・IKIライフクラブの事業基盤を確立するための重要な一年と位置付けた「2021～2022実行計画」に基づく「2022活動計画」について、組合員や元組合員を「一人にしない」という思いの実現と、生涯にわたり心豊かで幸せなライフスタイルの創造と人のつながりを担える組織と、その実現のための組織構築などを内容とした活動計画を決定しました。このほか、2022年度予算、会員資格の喪失に関わる規則改定などの全議案を決定しました。

日本一の助け合い UAゼンセン共済 掲示板

～IKI・IKIライフクラブ会員の皆さまへ～
ケガや日常生活に必要な保障
ゆうゆうライフ

加入対象
・旧「友の会」会員の方
・定年退職をされた「IKI・IKIライフクラブ」会員の方

共済7つの保障
傷害事故 賠償事故 携行品損害事故 家財盗難 家宅侵入 見舞金
自転車盗難事故 救護者見舞金 ホールインワン・アルト・ロス・エージシュート祝金

加入者だけの特典
1泊以上の旅行で補助金サービス
個人タイプ 2,000円 夫婦タイプ 3,000円

各種の保障をセット
保障内容の一部
□傷害給付金(ケガが対象、病氣は対象外)
入院日額3,500円(事故日から180日限度)
通院日額2,000円(事故日から180日以内で90日限度)
□賠償責任給付金:1事故1億円まで(示談代行あり)
□携行品損害給付金:1事故30万円まで
□救護者見舞金:100万円まで

●加入手続きが簡単
健康診断など面倒な手続きも不要。

お知らせ

旧「友の会」会員の皆さまへ
各種制度が変更されました

2020年10月30日に開かれた第1回実行委員会決定された、見舞金申請および長寿記念品の変更についてお知らせします。
変更点は、以下の通りです。
①介護見舞金制度⇒2023年6月30日の申請までとし、制度は廃止します。
②死亡見舞金制度⇒本人2万円、配偶者1万円給付の制度は存続します。
③住宅被災見舞金制度⇒制度は存続します。
④喜寿・米寿・白寿祝金制度は2021年4月よりカタログギフトに統一。この喜寿と米寿の制度は2032年に、白寿は2023年に廃止します。
なお、2032年までに77歳未満の会員へは、2022年4月に繰り上げて記念品をご送付します。

●お手ごろな掛金

掛金(年払)	傷害天災保障	夫婦タイプ	個人タイプ
あり	3万5000円	2万3000円	1万8000円
なし	2万6000円	1万8000円	

【傷害天災保障とは】
傷害保障では給付対象外となる地震・噴火、またはこれに伴う津波によるケガも保障します。

●海外での事故もカバー
国内の事故はもちろん、海外旅行での事故も対象。

●請求手続きが簡単
入院時・手術給付金などのみの請求で入院の請求額が10万円以下の場合、診断書は原則不要。
手術給付金を請求の場合も、原則診断書は不要。

なんでも相談ダイヤル

経験豊かなアドバイザーがあなたに寄り添って相談何でもお気軽にお電話ください

職場や家庭での悩みはありませんか
税金の問題って誰に聞けばいいの…?
近隣住民とのトラブル、相続、金銭問題…
終活の準備って何をすればいいの?

※相談の内容によっては弁護士、税理士をご紹介します。(初回相談無料)

月	火	水	木	金	総合アドバイザー
秋元 かおる	池田 晴夫	齊藤 恵子	原 要次郎 (特定社会保険労務士)	島岡 由雄	大出 日出生

ナйна ムダナイケン

0120-717-671

相談時間 月曜日:13時～19時 火曜日～金曜日:11時～17時

※土・日・祝・UAゼンセンの休日は休み。
※新型コロナウイルス感染拡大予防対策として、相談時間が変更になることもあります。

IKI・IKIライフクラブ本部事務局紹介

IKI・IKIライフクラブ本部事務局は、OB・OG会員と現役会員との橋渡し役として、つぎの4名が活動を推進し、入会・退会等手続き、祝い申請・贈呈手続き、見舞金制度申請・給付手続き、各種調整業務等を行っています。

…………… わたしたちが担当いたします! ……………

事務局長	副事務局長	副部長	職員
谷津 正信	平井 晃	林 一朗	岡田 奈美

IKI・IKIライフクラブ事務局(受付時間:平日 9時～17時15分の間)
〒102-8273 東京都千代田区九段南四丁目8-16
UAゼンセン生活応援事務局内
電話:03-3288-3598、FAX:03-3288-7174
メール:ikiiki@uazensen.jp
なお、会報その他、お気づきのことがあれば、ご連絡ください。

今年も寅年 参議院議員選挙にトライ! 会員一丸となった取り組みで「かわい」さんの必勝へ! 新春座談会

IKI・IKIライフクラブは2021年9月15日に新型コロナウイルス感染拡大に対応して、書面での第2回全国代表者会議を開催し、「2021－2022年度」を「IKI・IKIライフクラブ」の事業基盤を確立するための重要な2年間と位置付けた「2022活動計画」を決定し、さらに「2023－2024年度」以降を展望した組織づくりを旨とすることとなりました。その中で、政策実現活動の具体的展開、「2022年夏」に向けた第26回参議院議員選挙でのUAゼンセン組織内候補者「かわい たかのり」議員の必勝態勢を構築することを決定し、IKI・IKIライフクラブ会員が一丸となってこの活動に取り組んでいくことを誓いあいました。今新春号では、三期目の挑戦に臨む「かわい たかのり」参議院議員を囲んで、様々な角度から話を伺いました。

谷津 IKI・IKIライフクラブ会員の皆さまこんにちは。本日は、参議院議員「かわい たかのり」さんの執務室にお邪魔しております。2022年新春の座談会ということで、いろいろな角度からわたしたちの代表「かわい たかのり」さんからお話を伺いたいと思いますのでよろしくお願ひいたします。さて、私たちIKI・IKIライフクラブも2年目を迎えまして、会員数も皆さまのおかげで倍増になっております。パワーアップも組織的にできておりますし、2022年はそのパワーアップしたところを、三期目の挑戦をする「かわい たかのり」さんの勝利に向けて全力で力を注いで行ければと思っておりますので、何卒、IKI・IKIライフクラブ会員の皆さまのお力添えをよろしくお願ひいたします。今回は最近の政治、政策、そして日々の生活を中心としたご意見の交換をしていただき進めてまいりたいと思います。まず野口会長からご挨拶を含めてお話のきっかけをいただければと思います。

未永く人生を有意義にする 目的を軸に活動へ

野口 「かわい たかのり」さんには日ごろから大変お世話になっております。全国で国会の話を含めて、親しくお話を聞かせていただいております。これからはよいよお忙しくなる時期だと思っておりますけれども、よろしくお願ひいたします。簡単にIKI・IKIライフクラブを説明いたしますと、UAゼンセンに入った、入ったことがある組合員を大事にして、これまでは主として退職者中心の活動であったのですが、IKI・IKIライフクラブになり、現役も参加していただき、親睦を重ねるといふのも、政治活動をはじめとする社会活動、あるいはお互いが助け合うということをやりながら、未永く人生を有意義にしていこう、幸せなものにしていこうという狙いで作られた組織です。昨年IKI・IKIライフクラブが発足して1年たちました。具体的な活動としては、旧「友の会」でも行ってきた交流・親睦が中心でありますが、生活応援などの事業も活発化させながら、相談活動も充実させて家族にも利用されるネットワークを作りたいと考えています。IKI・IKIライフクラブの重要な活動でもあります政治活動は、この冬から本格的な活動を行うこととなりますが、会員が一丸となりこの運動を盛り上げてまいりたいと思います。また、この活動を通してIKI・IKIライフクラブの存在を高めてまいりたいと思います。

谷津 ありがとうございます。IKI・IKIライフクラブの現状や目的について報告いただきました。それでは、先の第207回臨時国会参院本会議(2021年12月21日)で、令和2年度決算の概要報告・質疑で岸田総理に質問をされた「かわい たかのり」さんから言葉をいただければと思います。

自・公長期政権への不満の受け皿になれた

かわい まずはIKI・IKIライフクラブの皆さまに心から御礼を申し上げます。それは先の衆議院議員選挙についてであります。混んとした政治情勢ではありますが、わたしは、改革・中道の「国民民主党」という政党に籍を置いて政治活動を行うという道を選びました。大変小さい政党ではありますが、独自の路線を歩

む決意をして先の衆議院議員選挙に臨みました。289ある小選挙区でわずか21選挙区でしか候補者を立てられないという圧倒的不利な状況の中、全国の皆さまのご理解とご協力を得まして、小選挙区では現職は全員、そして比例区では「国民民主党」の候補者のいない地域でもご支持を集めていただきましたおかげで、比例区で5名を当選させることができ、苦しい状況の中、議席を増やすことができました。このことは、今の自・公長期政権に対する国民の皆さまの不満というものが、いわゆる野党共闘をやった立憲民主党・共産党・社民党などの受け皿になれなかった。「自・公はいや、でも、立・共・社もいや」と思われた方の票の受け皿として、今回は私ども「国民民主党」や維新を選ばれたということだと理解しております。

言い換えれば左右の全体主義にくみしない改革・中道の政治路線というものが、今もなお一定の支持を得ているということの表れだということと理解しています。とはいえ、先の衆議院議員選挙は負ければ党の消滅危機、後のない戦いでありましたが皆さま方のご支援のおかげで、徳儀で踏ん張ることができたと考えておりますので、まず心から御礼を申し上げます。

「国民民主党」の独自性を出せる状況になった

この選挙結果を受けて、「国民民主党」は選挙前のいわゆる野党共闘の枠組みから外れて、独自の活動を始めていただこうことになりました。何より大きかったのは、衆議院において10名以上の議員がいる会派としての活動が許されることです。したがって、今までは立憲民主党のご配慮によって質問時間を頂戴していたという状況でしたが、今後は「国民民主党」独自の活動ができることになるわけです。

党の独自性を出せる状況になったことから、昨年のわずか16日間の臨時国会では、まず選挙公約にも掲げておりましたガソリン等燃油価格の高騰を受けて、租税特別措置と規定されているトリガー条項^(※1)の凍結解除の法案を議員立法として作り、国会に提出しましたし、併せて景気が回復するまでの間、一定期間消費税を5%に引き下げるといふ時限立法にも手を付けさせていただきました。

また、話題となった国会議員の文書通信交通滞在費は領収書がなくなるとかまわれない、という今のご時世には合わないものであり、使途の公開も含めた議員立法を提出するなど、6本の法案を作り提出することができました。

岸田総理の答弁は内容の薄いものでした

新型コロナウイルス対策については、令和2年度の決算本会議がありまして、私自身が岸田総理と本会議の中でやり取りさせていただきました。これまでに政府が行ってきた様々な施策の総括を含めて、今後の検証に資するような答弁を引き出そうと質問をしたわけですが、答弁内容は中身がなくてスカスカでありました。

何よりも私が懸念しているのは新型コロナウイルスの感染症対策での様々な政策が、医療提供体制のことや経済対策のこと、更には海外から感染症を持ち込まないようにする防疫体制のことを含めて、今回起きたまらもちのこを検証し、その反省を次なる危機に活かせるかどうかが問われているのです。その



辺のことも前向きな答弁として引き出せるのかと思ひ質問を行ったのですが、残念ながら実に内容の薄い答弁でした。

ぶれない政治活動は 皆さまの支援あってこそ

今後の通常国会では、今回の一連の答弁、そしてプレレにぶれた子育て世帯への子供1人10万円の給付金の話を含め、改めてしっかりと答弁を引き出していきたくと考えています。こうした活動において筋を通しながら、この混んとした状況の中で私自身が政治活動を行うことができていることは、後ろで支えてくださる皆さまがあつてのことだということ、常に意識しながら活動させていただいております。それだけにいついかなる時にも、ご支援をいただいている皆さまには、説明責任を果たせる立場で、これからも政治活動を進めていきたくと思っております。引き続きご指導のほどをよろしくお願ひいたします。

政治不信が起こるのは当たり前でしょう

野口 大変力強い活動の一端を伺いました。われわれとしても心が躍ります。いま政治不信の話が出ましたが、安倍、菅政権ではわれわれにとってめちゃくちゃな政治がありました。特に加計学園の問題、森友学園の問題、あるいは桜を見る会などにおいて情報を隠蔽したり改ざんしたりすることが行われている。情報は民主主義の根幹にかかわる問題であるわけですが、情報の信頼性というものが国会で破壊されてしまった。国民を愚弄するような嘘が平気で国会という場で横行した。極めて重大な問題だと考えています。また、2年にわたる新型コロナウイルスへの対応で、ワクチンの接種が遅れたこと。二つ目はPCR検査の普及が遅れていること。三つ目は、病床の不足問題。あれだけ酷い伝染状態があつて、大勢の人が苦しんだにもかかわらず。この問題を解決しなければ新型コロナウイルス問題は先に進まないといえます。まさに政治不信が起きるのは当たり前です。「かわい たかのり」さんは先の国会で代表質問を行うなど活躍されましたが、これら問題の追及がこれからも必要だと思います。その意味でぜひとも「国民民主党」が、マスコミOB、検察OBや弁護士など専門家等集めて、応援団を作りたいと思ひます。そこから追及の方法とあるいは新しい提案を作り上げてもらえればと思います。「かわい たかのり」さんにはそのような方向でも活動していただきたいと思ひます。

かわい ご指摘いただいたいずれの問題意識を含めていろいろな施策がなされてきましたが、新型コロナウ

イルス対策は法律の改正や行政の取り組みの見直しも含めて、議論しなければいけないと思っています。日本の医療供給体制は、自治体とそれぞれの自治体の保健所にゆだねられており、更に感染症法の第二類感染症に指定させてしまった。そのため保健所を通じてしか患者さんの受け入れができないという枠組みを規定したゆえに、このような結果になってしまったわけです。入口の所から当時の安倍首相の判断が結果的に日本の医療供給体制を機能させることができなかったといえます。今後国会の中でしっかりと議論していきたいと思ひます。

老後生活の充実に3つの対策が必要

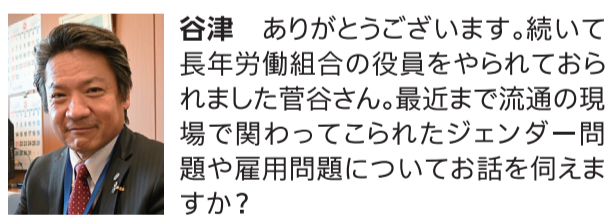
谷津 ありがとうございます。原さんの方からは老後の働き方についてご意見があるとお聞きしました。**原** 特定社会保険労務士の資格を持っておりまして高齢者の働き方について伺います。現在、現役の方々には65歳まで働くのは当たり前になっています。さらに65歳以上でも、年金額が不足する現状では、各人の生活の充実のためにそれぞれの対策が必要です。それには、私たちOB・OGにとって大きく3つの選択肢があると思ひます。

1つは、一番問題となっている65歳以降も主に生活資金を得るために働く人の問題です。現状では、例えば、ハローワーク等で仕事を探しても、「働き方や報酬」はなかなか望む条件とは程遠いのが現状です。また、高齢者が主に、「非正規雇用」で働くとするれば、このことは「かわい」さんが国会で指摘された「賃金デフレ」の一因となりかねないと考えています。

2つ目は、生きがいのために知識や資格を活かし働いて報酬を得るには、それを売り込む「営業力」が必要になるということを痛感しました。特にフリーランスで働くつもりの方には「営業力」は必須だと思ひます。そのためバックアップが是非とも必要です。

3つ目は、年金で生きるためには、はっきり言えば国の国民年金・厚生年金だけでは不足しますので、自助努力を含むUAゼンセン共済や企業年金をきちんと活用することが、安心な老後生活に必要なだと痛感しています。このような問題に対処するために、どのような政策を立てていくことが必要か? コメントをいただければ幸いです。

かわい 定年制問題は、人生100年時代といわれ、健康寿命が72から75歳という状況の中で、現役世代が将来に関わつてくる問題です。現役世代が担う世代との人口合わせが労働問題と方向付けていくと考えますが、今言われましたように家計のニーズと体力を合わせたような働き方をどう制度の中に組み込んでいくかということ、同時に働きたいと思ひている方が委ねやすい様な社会環境を醸成していくことが大事だと思ひます。今後議論していく上で大きなテーマと思ひます。



谷津 ありがとうございます。続いて長年労働組合の役員をやられておられました菅谷さん。最近まで流通の現場で関わつてこられたジェンダー問題や雇用問題についてお話を伺えますか?

新型コロナウイルスの感染恐怖をこらえ 頑張つて働いています

菅谷 ジェンダー問題は、だいぶ前からいわれていますよね。日本は男女格差を測るジェンダーギャップ指数^(※2)で150か国中120位となっています。私がこの問題に何十年も取り組んできたのが現状ですがどうして進まないのだろうかと思ひます。特に今回は、経済という部分と先の衆議院議員選挙においてのみみられるように女性の候補者が少なく、なぜか女性進出が遅れている。そして働くことを考えても、女性は雇用機会や賃金の不平等がまだ解決されていませんし、私の周りを見ても、非正規雇用の方がやはり大半は女性です。それと高齢化しているのですね。また、正社員にならない若い方たちが多いといふのも現実です。その中で男女格差がなかなか改善されていないのが現状です。

皆さまのお話にも出ているこのコロナ禍では特に、流通サービス、外食産業、旅行産業とそこで働く人たちに大きなダメージを与えています。私が働く流通、スーパー、百貨店で私たちの仲間がすごく大変な思

いをしながら、新型コロナウイルスという見えないものに対し恐怖心を抱えながら、ズーっとお店に立っています。各企業の中では、「どうもありがとう」という意味での手当てを払つてくれた企業もあつたと新聞などで報道されました。UAゼンセンに加盟している流通系のみんなが恐怖を抱えながら、覚悟し、消費者の毎日の生活を支え、豊かにするために頑張つていることを、何かの折に、「かわい」さんの方から世の中にお伝えいただけたらありがたいと思ひます。

さらにジェンダーだけではなく、社会的弱者ともいわれるシングルマザーやシングルファザーという方たちが陰に隠れてしまつている部分もあります。子育て世代への10万円給付も分かるのですが、弱い立場というか、一人で子育てをしている人たち、年をとつていくだけでも働かなければ食べていけないという高齢の女性の方たち、そして非正規の方たちも含めて、生活者一人一人への支援を考えていただけないものかとも思ひます。

政府の愚策を正し、 弾力的な制度の取り組みへ

かわい 緊急支援という点で見れば、政府が打ち出した10万円給付の中身が半分現金で半分クーポン券という支援策を打ち上げました。そもそも支援の目的を決めずに、とにかくお金を配るみたいなことを自・公政権が言い出したことについては、大反対です。

今、困っている人にすぐ救いの手を差し伸べるためには、全員に一律配ればよいのではないのでしょうか。年齢制限で18歳までとて、昨日19歳になってしまった人はどうなるか?などの話にも必ずなります。もらえる人ももらえない人が出てしまう。したがって、皆さまに一律お配りしたうえで、お金持ちの方からは、逆還付していただく形で、税金で戻していただければ一瞬でこの施策はできるのです。ましてや、クーポン券発行に1千億円近いお金をかけて、愚策もいどころです。今の自・公政権のお金の使い方が本当に困っている人々に寄り添つたものになっていないことこそ指摘の通りと思ひます。国会での質疑を行つて、是正できるものは是正させるべく取り組んでいきたいと考えています。

あわせて、非正規で働く女性の低賃金も含めて見えないところで大変困っている方が多い。そうした方々への問題解決のために、例えば住むところがなくて、もしくは家賃で大変困窮している等の場合には、いわゆる生活保護の住宅扶助などの制度を弾力的な制度にして家賃補助として切り出せばよいわけです。家賃補助を支えらえるだけでなく、非正規で働いていて、収入が不安定で、その上仕事が無くなってしまひ雇用調整助成金の支給対象になっている方々でも、従来の制度をうまく活用することによって、救いの手を差し伸べることもできると思ひます。そんなことも自民党は知らないのではないのでしょうか。ですから、「国民民主党」の議席数が増えたおかげで、国会に提案できることはたくさんあると思ひます。

谷津 ありがとうございます。原さんの方から、地球温暖化の問題についてご意見があると伺いました。

カーボンニュートラル問題にどう対応する

原 異常気象の問題などがクローズアップされる中、世界的に二酸化炭素の削減が叫ばれています。われわれ昭和世代は、高度成長でエネルギーをどんどん使つたわけですが、オイルショックをきっかけに省エネルギー資源にも目を向けるようになりました。今、世界的にCO₂削減ということで、特にヨーロッパを中心に国際ルールを変えてしまおうということが行われつつあるようです。今まで日本が身を削り環境を奇麗にしてきた。その部分を出発点にさらに規制しようとしていこうということだと思ひますが、この状況に対して、政策としてどのように対応されようとしているのかお聞きいたします。

製造業種中間の要望実現へ

かわい いわゆる温室効果ガスの排出量と吸収量を均衡させるカーボンニュートラル^(※3)の問題、これは避け逃れられない問題です。どういった状況になったにせよ、日本はこれをやらな

くてはいけません。わが国が2050年までにカーボンニュートラルを旨とすることを宣言していますので、そこに向けた取り組みを前提として、政府がやるべきことは多くあると思ひます。現実問題として国内の物づくりにおいて多くの企業がCO₂を排出してきました。これは業界によって、ハードルの高さが違います。したがってケミカルの業種などは、設備投資や研究開発など莫大な資金を投入しなければならなくなり、業界の実態というものをきちんと把握して、各産業が対策を進めていく上で、どういった支援が必要なのかを検討する必要があります。

そのため、国に対して積極的に業界側から働きかけることを通じて、国の施策として設備投資を行っている企業に対して、例えば、税制優遇措置を講じるなど、低炭素、脱炭素のプロダクト製品を作ろうとする研究開発に対して助成金を出す。もしくは設備投資に関わる資金に対して、資金調達の利子補給の支援を行うなど、積極的に要請していかなければならないと思ひます。国には当然その対応をしていただかなければなりません。

この様な考え方にともなつて、先の通常国会で、産業競争力強化法が一部改正されました。したがって今申しあげた内容が一部改正法案の中に組み込まれて、今後はそのスキームをうまく活用しながら、UAゼンセン加盟組合企業への製造業種の仲間を中心とした要望を経済産業省に上げていくことを実現していきたいと思ひます。

谷津 まだまだお話を伺いたいのですが、本日は次のご予定が詰まつております。最後に「かわい」議員からIKI・IKIライフクラブの会員の皆さまにメッセージを一言お願ひいたします。

今夏の参院選へ三期目挑戦します。 「かわい たかのり」にお力添えを

かわい 改めましてIKI・IKIライフクラブの皆さま、いつも大変お世話になっております。一昨年来、コロナ禍で皆さまには大変不自由な思いをなされておられたことと思ひます。

今年は長引くコロナ禍から抜け出して、明るい平穏な日常生活をとり戻せるよう国会の場において、全力を尽くしてまいりたいと思ひます。あわせて、本年7月に施行されます参議院議員選挙において、わたくし「かわい たかのり」は、UAゼンセンの候補者として再び国政に挑戦させていただくことになりました。UAゼンセンの仲間皆さま、先輩の皆さまの思いをしっかりと国政に届けて、また法律や行政の制度に反映させる取り組みをしっかりと進めてまいりたいと思ひます。引き続き先輩の皆さま方、仲間の皆さま方には、「かわい たかのり」にお力添えを賜りますことを心からお願ひを申し上げます。本日は皆さま方に国政の一端をお披露目できたことをうれしく思ひます。ありがとうございます。

谷津 本年は寅年です。三期目の「かわい たかのり」さんの必勝に向けて全員でトライしていくことをお誓ひします。本日はありがとうございます。



(※1)トリガー条項 「あらかじめ決められていた一定の条件を満たした場合に発動される条項」で、「原油高などでガソリン価格が高騰したような場合に、ガソリン税を引き下げのため」のルール
(※2)ジェンダーギャップ指数 各国の男女格差を数値化したもの。スイス非営利財団世界経済フォーラムが2006年から毎年発表しており、男女平等格差指数ともいわれています。目的は、各国が自国の男女のギャップの差を把握し解消すること。
(※3)カーボンニュートラル 温室効果ガス排出量をできるだけ削減し、削減できなかった温室効果ガスを吸収または除去することで実質ゼロにすること。